



No.225  
 常総市  
 2019.6.6  
 発行

# 議会だより

2月定例会議  
 5月随時会議

## 議長に 倉持 守議員

## 副議長に 小林 剛議員が当選

令和元年5月随時会議

就任のご挨拶



議長 倉持 守



副議長 小林 剛

市民の皆様には、日頃より常総市議会運営に対するご理解をいただき、厚く御礼申し上げます。

さて、任期満了による常総市議会議員一般選挙が4月21日に投票され、皆様の審判を受けた22名の議員が新たに誕生いたしました。これを受け、5月16日、17日に随時会議が開かれ、議員各位のご推挙をいただき、議長、副議長の要職を拝命いたしました。私どもにとり誠に光栄でありましたとともに、その責務の重大さを痛感するところでございます。

常総市のますますの発展と、よりよい市民生活の実現を目指し、誠心誠意努めてまいりますとともに、地方分権の進展により、議会の役割が重要となる中、市議会の活動や情報を積極的に提供し、開かれた議会運営に全力で取り組んでまいります。今後とも、市民の皆様の一層のご支援、ご協力をお願い申し上げます。

任期は令和元年5月1日から4年間

# 全力を尽くします!

4月21日に行われた常総市議会議員の一般選挙により、22名の議員が誕生いたしました。

## 一般選挙で22名の議員が当選

無所属 9番  
大澤清  
51歳



①文教厚生委員会、議会広報委員会  
②令政会  
③平町448番地1

無所属 5番  
草間典夫  
61歳



①文教厚生委員会、議会広報委員会  
②令明会  
③花島町355番地1

無所属 1番  
佐藤剛史  
38歳



①文教厚生委員会、議会広報委員会  
②令明会  
③向石下6番地

無所属 10番  
坂野茂実  
62歳



①総務委員会  
②未来  
③伊左衛門新田町233番地1

無所属 6番  
吉原晴照  
67歳



①建設経済委員会、議会広報委員会  
②令明会  
③本石下1893番地

公明党 2番  
柳井真吾  
45歳



①文教厚生委員会  
②令政会  
③水海道山田町4578番地1

無所属 11番  
遠藤章江  
55歳



①総務委員会、議会広報委員会  
②無党派  
③水海道諏訪町2802番地6

無所属 7番  
飯島忠  
71歳



①総務委員会  
②未来  
③本豊田76番地

無所属 3番  
広瀬光一  
49歳



①総務委員会、議会広報委員会  
②令明会  
③内守谷町きぬの里二丁目22番地2

無所属 12番  
小林剛  
63歳



①総務委員会  
②未来  
③大塚戸町1703番地1

無所属 8番  
関優嗣  
44歳



①文教厚生委員会  
②常総一心会  
③兵町12番地

公明党 4番  
石塚剛  
50歳



①総務委員会、議会広報委員会  
②令政会  
③中妻町878番地9

凡例	議席番号	氏名	年齢
所属政党			
①所属常任委員会			
②会派			
③住所			
※年齢は5月1日現在			



# 新議員22名の顔ぶれ

# 市政発展に向けて

 <p>21番 日本共産党 堀越道男 68歳</p> <p>①文教厚生委員会 ②無会派 ③豊岡町乙1112番地3</p>	 <p>19番 無所属 水野昇 81歳</p> <p>①総務委員会 ②無会派 ③岡田463番地2</p>	 <p>16番 無所属 茂田信三 66歳</p> <p>①文教厚生委員会 ②無会派 ③本石下185番地</p>	 <p>13番 無所属 坂巻文夫 71歳</p> <p>①建設経済委員会 ②常総一心会 ③内守谷町3058番地</p>
 <p>22番 無所属 倉持守 68歳</p> <p>①常総一心会 ③菅生町5300番地</p>	 <p>20番 無所属 中村安雄 79歳</p> <p>①建設経済委員会 ②未来 ③坂手町1339番地</p>	 <p>17番 無所属 喜見山明 68歳</p> <p>①建設経済委員会 ②無会派 ③水海道天満町2451番地1</p>	 <p>14番 無所属 中村博美 66歳</p> <p>①建設経済委員会 ②無会派 ③中妻町731番地1</p>
 <p>18番 無所属 風野芳之 76歳</p> <p>①建設経済委員会 ②無会派 ③小保川1392番地</p>	 <p>15番 無所属 岡野一男 70歳</p> <p>①建設経済委員会、議会広報委員会 ②無会派 ③坂手町2150番地2</p>		

■新旧別  
現議員が14名、元議員が1名、今回初めて当選した議員が7名。

■政党内  
公明党が2名、日本共産党が1名、無所属が19名。

■政策会派別（3名以上）  
未来が4名、令明会が4名、

今回の選挙で当選した議員を新旧別、政党内、政策会派別、地区別に見ると次のとおりです。

## 議会運営委員会の構成

議会運営委員会は、市議会の適正かつ円滑な運営を期するために設置されており、委員は、各常任委員長3名・各会派等から4名の計7名で構成されています。

今回選出された委員は、次のとおりです。

令明会が3名、常総一心会が3名。

■地区別  
水海道地区3名、豊岡地区1名、菅原地区1名、大花羽地区1名、三妻地区2名、大生地区2名、坂手地区2名、内守谷地区2名、菅生地区2名、石下地区2名、豊田地区1名、玉地区1名、岡田地区2名。

- ◎委員長 茂田 信三
- ◎副委員長 坂巻 文夫
- ◎委員 佐藤 剛
- ◎委員 中村 博美
- ◎委員 遠藤 章江
- ◎委員 中村 安雄
- ◎委員 大澤 清

3 / 5～7の3日間にわたり15人の議員が一般質問を行い、市政全般について活発な議論が交わされました。ここでは、質問・答弁の要旨の一部を掲載しています。 ※原則として、平成の元号は省略しています。

# 質 一 問 般

## 2 月 定 例 会 議

●が今回掲載した質問です(質問事項を通告順に記載)。  
本文中の固有名詞は、質問議員の意向により掲載しております。  
各議員の質問内容の詳細は、各議員のページのQRコードをスマートフォン等で読み取ることで、動画で見ることができます。

1. 中村 博美	●子育て支援策について ○市役所に訪れた市民向けの託児サービスについて	5 頁
2. 岡野 一男	●スクールバスの導入について ○ドライブレコーダーの設置について	6 頁
3. 遠藤 正信	●水道事業について ○認知症対策について	7 頁
4. 中島 亨一	●新オレンジプランに基づく認知症カフェについて ○人口減少社会の中で常総市政の向かうべき方向性について	8 頁
5. 大澤 清	○児童虐待について ●医療的ケア児について	9 頁
6. 中村 安雄	●市民の広場とカスミ跡地の計画・水海道公民館移設について ○農業問題の現在と今後について ○高齢者・後期高齢者等の保険利用の実態と対応について	10 頁
7. 寺田 洋	●ポイントサービスの導入について ○道路行政における包括管理導入について	11 頁
8. 坂野 茂実	●選挙の投票率を上げるための策について	12 頁
9. 倉持 守	●公共交通の利用状況と運営について問う	13 頁
10. 関 優嗣	○幼児教育・保育の無償化について ○小・中学校等のトイレ設備について ●水海道有料道路の方向性について	14 頁
11. 石川 栄子	○子育てに関する問題について ●高齢者施策について ○被災者支援について ○圏央道周辺開発について	15 頁
12. 堀越 道男	●国保問題について ○保育所問題について ○公共下水道について	16 頁
13. 堀越 輝子	●市長と補助団体等(社会福祉協議会、シルバー人材センター等)の外部団体の長の兼務について	17 頁
14. 新田 宏安	●道路整備について	18 頁
15. 茂田 信三	●道の駅とアグリサイエンスバレー構想について問う ○産婦人科の設立の進捗について	19 頁

**用語解説** **耐震診断**: 建築士などの専門家が、建物の地震に対する安全性を評価すること。  
**耐震改修**: 地震の揺れに耐えられるように建物の向上を図るために行う工事。

中村 博美 議員

**保健福祉部長**  
地域的位置づけ等も考慮する  
大きな要因にならないか。

**議員**  
児童数の減少が、閉所になる  
保育所と民設民営化を視野に入れた保育所の整備を行うこと。

③施設の適正配置を行い、公立  
施設数及び利用定員を見直し、  
施設数を減少させた上で公立の  
まま建て替えを行うこと。

②6つの保育所を適正に配置し、  
施設数を見直し、  
施設数を減少させた上で公立の  
まま建て替えを行うこと。

①利用定員を見直し、公立保育  
所をすべて公立のまま施設整備  
をし、建て替えを行うこと。



市立保育所、幼稚園の今後について尋ねる

**答**  
保育所は検討中。幼稚園は耐震改修して統合する方向。  
ので、児童数の減少だけで閉所という話にはならない。

**議員**  
前回の質問に市長は、保護者ではなく、通っている園児の安全が大事と言われた。しかし、送迎をしている保護者の方がしつかりと納得できるような説明をして進めてほしい。

**議員**  
震診断結果が出たため、対策として説明会を行う予定である。

**議員**  
東部地区の幼稚園はいかがか。

**議員**  
市立幼稚園5園の今後について尋ねる。

**議員**  
第二保育所所在籍児童の保護者地域住民の方より提出された陳情書をよく読み、6つの保育所とともに考慮してほしい。

□ 殿 質 問 JOSOSHIGIKAYORI JOSOSHIGIKAYORI JOSOSHIGIKAYORI JOSOSHIGIKAYORI □ 殿 質 問

岡野 一男 議員

**議員**  
登下校のバス利用も教育の一環。子どもたちが住んでいる場所が違うだけでバス利用ができ

**議員**  
山間僻地あるいは統廃合した学校では、スクールバスを導入しているが、当市では検討した経緯はあるか。

**議員**  
三妻小学校が63名、大花羽小学校が1名、水海道西中学校が184名である。

**議員**  
遠距離通学者の学校別の人数を問う。

**議員**  
三妻小学校が63名、大花羽小学校が1名、水海道西中学校が184名である。



スクールバスの導入について問う

**答**  
慎重に検討していく  
ないのは、教育的配慮がなされていないと感じるが。

**議員**  
統廃合ありきでなく、当然考えていく時期にきている。課題を先送りしないで、取り組んでいくことを提案する。

**議員**  
三妻小学校では、公共交通を利用して子どもが多い。保護者の負担も大きい。登下校問題を早急に解決してほしい。

**議員**  
山間僻地あるいは統廃合した学校では、スクールバスを導入しているが、当市では検討した経緯はあるか。

**議員**  
三妻小学校が63名、大花羽小学校が1名、水海道西中学校が184名である。

**議員**  
遠距離通学者の学校別の人数を問う。

**議員**  
三妻小学校が63名、大花羽小学校が1名、水海道西中学校が184名である。





水道事業の民間への委託について問う

答

4つの委託手法があり、国が直接報告、徴収、立入検査をする

議員 水道法の一部を改正する法律の趣旨を伺う。

都市建設部長

人口減少に伴う水需要の減少、水道施設の老朽化、深刻化する人材不足等の水道事業が直面する課題に対し、水道の基盤強化を図り、将来にわたって安全な水を安定的に供給するために制度改正されたものである。

議員

都市建設部長

民間への具体的な委託手法は、1つは施設の包括業務委託、2つ目はDBO方式、3つ目がPFI方式、4つ目としてコンセッション方式がある。

議員

水道事業の運営権を民間事業者に委託した場合、監督はどのように行われるのか。

都市建設部長

市がPFI法に基づき定期的にモニタリングを行い、改善を要求するとともに、今回の改正

により国が市のモニタリング体制が適切かどうか確認した上で許可をするなど、国が直接報告・徴収・立入検査をすることになっている。

議員

民間委託した場合の水道料金は、

都市建設部長

市がPFI法に基づき、条例で料金の上限を決定し、民間事業者はその範囲内で料金設定をすることとなる。

議員

民間委託の発祥とされるパリ市では、度重なる使用料金の値上げや財政面の透明性の欠如、監督の行き届かない組織体系等を理由に2010年に再公営化したわけだが、このような事例があることについて当局の考えを問う。

都市建設部長

海外の事例のように民間事業者に大きな裁量権はなく、国の認可によるため、海外の事例のようにはならないと考える。



認知症カフェの設置について問う

答

北海道、石下各地区1か所の設置を考えている

議員

認知症施設推進総合戦略、通称新オレンジプランに基づく認知症カフェについて。これは、高齢化の進展に伴い、認知症の人が増えていくことが見込まれる中、介護者への支援を行うことが認知症の人の生活の質の改善につながるのと観点に立ち、介護者の精神的、身体的負担を軽減する観点からの支援や介護者の生活と介護の両立を支援する施策である。この中の7本の柱の4番目である認知症カフェについては、認知症の人や家族が地域の人や専門家と相互に情報を共有し、お互いに理解し合う認知症カフェ等の設置を推進するものである。近隣自治体において、つくば市や守谷市にて、認知症カフェ、オレンジカフェが既に設置済である。認知症カフェには専門家がおり、情報共有や相談することにより、介護者の負担の軽減や、認知症の程度の軽減につながるた

保健福祉部長

当時でも認知症カフェを目指し、平成29年度より準備事業として、まずは「話そうの会」を始めたが、この会は、不定期開催であり、会場も石下総合福祉センターのみの実施となつている。今後については、認知症カフェとして設置できるよう、準備を進めていきたい。

保健福祉部長

議員

現実に認知症カフェをいつどの程度で、どこへ設置するか。

保健福祉部長

保健所の指導を踏まえ、まずは北海道地区に1カ所、石下地区に1カ所を想定し、会場の選定を行いたいと考えている。開始時期については、試験的な活動を両地区で開催し、本格稼働については茨城県の認知症を知る月間である9月を目標に準備を進め、まずは各会場月1回の開催を考えている。



医療機器に使用する発電機の補助について  
て当市の考えは？

答 具体的に検討していきたい

である。

議員

現在、医学の進歩を背景として、新生児集中治療室などに長期入院した後、引き続き人工呼吸器や胃瘻などを使用し、たんの吸引や経管栄養など医療的ケアが日常的に必要な医療的ケア児の数は、平成28年時点で1万8000人を超えている。医療的ケア児への支援は、医療、福祉、子育て支援、保険、教育等の多岐にわたる分野の連携が不可欠になっている。これらは同時に、保護者や家族にとっても重要な問題である。当市の医療的ケア児数とその内訳を示していただきたい。

保健福祉部長

平成30年4月1日時点で8名となっている。内訳とし、複数ケアを受けている方もいるが、人工呼吸器を使用している医療的ケア児は3名、気管内挿管、気管切開は2名、酸素療法は3名、経管栄養が4名、導尿が2名、その他たんの吸引等が5名

大澤 清 議員

議員

いつ起こるか分からない災害などで停電になることは、人工呼吸器やたんの吸引機などを使用する医療的ケア児にとって命取りになりかねない。これは高齢者を含め、これらを使用するすべての人々に言えることだ。在宅や避難所で機器の充電が切れた場合には、最悪な状況になり得るため、医療機器に使用する発電機の補助について当市の考えを問う。

保健福祉部長

そのようなリスクを軽減する上でも、質問を参考に、今後具体的に検討してまいります。

議員

ぜひ医療的ケア児のみならず、災害時に備え、すべての要支援者に対しましても、生命を守る意味でも早急な助成支援を講じよう強くお願いしたい。

問 質 質 問 JOSOSHIGIKAI DAYORI JOSOSHIGIKAI DAYORI JOSOSHIGIKAI DAYORI JOSOSHIGIKAI DAYORI 問 質 質 問



水海道にも多目的施設を

答 専門家に調査を委託し、各施設の有効活用の方角性を示したい

議員

今回で取り上げるのは7回目で、多くの市民が、署名活動をされており、大変心強く思っているところだが、市民の広場とカスミ跡地の計画・水海道公民館の移設について問う。

教育委員会教育部長

水海道公民館は昭和48年建築で、既に45年以上が経過し、武道館についても昭和7年の建築で老朽化が激しい。特に武道館は、国の登録文化財として、また旧水海道小学校の遺構としても貴重な建物で、利用者も多いことから、活用しながら保存していきたい。

議員

プロジェクトチームでは何回くらい話し合いをしてきたか。指定文化財である武道館の利活用についての解決策はあるのか。

生涯学習課長

29年度に4回、30年度に3回開いた。株式会社カスミとも直接話し合いをする機会を持った。

中村 安雄 議員

議員

武道館の移設は法令的にも技術的にも可能と考える。補正予算で調査費を計上しこの問題をクリアしたい。また、登録文化財そのものについては解体・移転の費用に補助金は見込めない。

議員

水海道地区については、集会所がない。石下地区には地域交流センターがあり、中央公民館もある。カスミの建物そのものは、面積も広く会議の場所として改修し、利用できる可能性はないのか。何とか早急に市民の願いをかなえることはできないか。今回の署名が数万人という数であったとすれば、これほど力強い支援体制はない。

市長

まず一步は、300万の補正予算の調査費である。生まれ変わった水海道と石下の中心市街地を作っていくきたい。

議員

たくさんの署名が集まっている。最善を尽くして市民の願いをかなえる体制を作ってほしい。





行政におけるスマートフォンを活用する  
考えはあるか



答 実施に向け、活用を検討予定

スタートした。さらに、今年2月にはマイキープラットフォーム運用協議会に加盟した。

議員

自治体ポイントシステムを当市に導入してはどうか。カードを使うのではなく、スマートフォンで決済するというのが今回の質問である。これからスマートフォンを活用した地域活性化策が有効になってくると思われるが、当市ではどのように考えているか。

市長公室長

スマートフォンアプリの活用を検討する予定であり、アプリの構築にあたっては、ポイントサービスとの連携も視野に入れながら進めていきたいと考えている。

議員

総務省管轄のマイキープラットフォーム構想及び自治体ポイントサービスの導入を計画しているか。

市長公室長

今年度、庁内でワーキンググループを組織し、自治体ポイント制度の調査、研究、検討をス



選挙の投票率を上げる策について



答 投票しやすい環境づくりを工夫していきたい

えはあるか。

総務部長

不便をおかけしていると認識しており、有権者の皆様からのご要望に真摯に耳を傾けていく。

議員

川西地区の大規模小売店に新たに2カ所期日前投票所が設置されており、買い物ついでに入場券や印鑑がなくても気軽に投票ができるのは大変便利であり、実施済みの自治体でも好評のようで、投票率の向上が期待できると考える。新たに設置した期日前投票所は、今後も継続していくのか。

総務部長

今後も続けていく予定である。

議員

さらに、高齢者の利便性をあげるためにデマンドタクシーを投票日に利用できないか。

総務部長

投票日となる日曜日の利用は現状ではできないが、平日にデマンドタクシーを利用して、期日前投票所を利用して投票することは可能である。

問 答 問 JOSOSHIGIKAYORI JOSOSHIGIKAYORI JOSOSHIGIKAYORI JOSOSHIGIKAYORI 問 答 問

議員

投票区面積の上位と下位、広い順、小さい順を尋ねる。

総務部長

広い順に7・40km<sup>2</sup>、7・36km<sup>2</sup>である。小さい方は、0・46km<sup>2</sup>、0.5km<sup>2</sup>である。

議員

比較をすると、16倍と大変大きな差がある。投票所まで2〜3kmも離れている地区もあると聞く。高齢者にどれだけ不便を強いているか、投票に行きたくても行く術がないという方たちもいるがどのように考えるか。

総務部長

有権者が置かれた環境によって参政権の行使が妨げられることのないよう、投票しやすい環境づくりを工夫していきたい。

議員

投票所を有権者千人程度で統合したそうだが、中には2千人以上のところもある。まず住民の声を聞くことが、行政の第一歩だと考えるが、見直し等の考



倉持 守 議員



デマンドタクシーの運営について



答

検討会や協議会において方向性を見出した

**議員** デマンドタクシーの利用状況は。

**総務部長**

平成30年度の利用状況は、1月末現在で1万7701人、1日平均88.12人となっている。

**議員**

デマンドタクシーの利用をより増やすための改善策はあるか。

**総務部長**

利用券の車内販売は非常に好評であり、今後も利用者の意見を聞きながら、庁内に対策検討会議を設置して方向性を見出したい。

**議員**

アンケートの対象者は利用者だけなのか。

**総務部長**

複数回利用した方からアンケートをいただいている。

**議員**

利用していない方にもアンケート調査をし、広く意見を聞くべきだ。「利用しにくい」「受付

時間が4時までと早い」「当日の利用がしにくい」などの意見がある。公共交通活性化協議会での内容を説明いただきたい。

**行政経営課長**

審議内容は、前年度の事業報告・決算・監査報告、当該年度の予算・事業計画である。

**議員**

社会福祉協議会への委託料として1400万円とあるが、何人が従事しているのか。

**行政経営課長**

正職員が1名、臨時職員7名が登録されている。運行予約業務に携わるは午前3名、午後2名の臨時職員である。

**議員**

この委託費用は高いと感じるが、妥当か。

**行政経営課長**

他市の状況と同じで妥当であると考えている。

**議員**

より利用しやすくするため、改善できるところは連携して執行うよう強く望む。

□ 殿 質 問 JOSOSHIGIKAYORI JOSOSHIGIKAYORI JOSOSHIGIKAYORI JOSOSHIGIKAYORI □ 殿 質 問

関 優嗣 議員



水海道有料道路の今後について伺う



答

平成31年度は一たん休止の上、調査を実施し、施策を検討後、事業を再開したい

**議員** 水海道有料道路の今後について伺う。

**都市建設部長**

圏央道開通による影響を考慮することで補てん額の減額が可能ではないかということ、その確認のために平成31年度は一たん休止するという結論に至った。休止期間中に改めて交通量調査を実施し、圏央道開通後の通行量を明確にした上で、県及び県道路公社と調整を図っていく。また近隣自治体に協力を要請し、連携を図るとともに、協賛していただける企業を募集するなど、負担金削減について施策を検討し、事業を再開したいと考えている。

**議員**

この事業の本来のねらい、目的は何だったのか伺う。

**都市建設部長**

朝夕の通勤時間帯に市道を通り、抜け道として使う車両が多いということ、通学する児童

**議員** 実際の数字にもあらわれている、十分な成果、評価せざるを得ないものが休止してしまうというのは大変残念である。ただ、負担軽減につながるのであれば、この一時休止もやむを得ないと思うが、4300万円で常総市の未来を担って立つ子どもたちが、安全に登下校ができるというのであれば、私は決して高いとは思わないし、これは続けていきたいと思います。当然、今後の財政負担の軽減を図る上で、新たに企業への協賛依頼も進めるということであるが、必ず1年後には今よりも財政負担が軽減された状態で、よりよい事業として、もう一度必ず再開していただきたい。





介護保険の減免制度の拡充を！  
「保険料が高くて、暮らしていけない」

答 新たな減免は検討していない

施行令が3月改定予定のため、条例を改正し、第1から第3段階の保険料を4月に遡及し軽減することを想定している。新たな減免は検討していない。

議員

介護保険制度については、制度発足当時から当市では保険料の減免制度ができた。福祉年金受給者に限り減免する制度がつけられたが、福祉年金受給者が亡くなられ、実態のない制度になっている。発足当時平均基準月額2500円だった保険料が現在は5500円と2倍以上に値上げになった。年金は2カ月に1回の支給のため、1度に1万1000円が通帳から引き落としになり、プラス国民健康保険税や後期高齢者医療保険料も引き落としのため、「暮らしていない」と言う声が上がっている。新たに減免制度を作るべきと思うが、どう考えるか。

保健福祉部長

介護保険法の改正により、消費税による公費を投入し、低所得者である第1段階の保険料軽減は、2015年4月から一部実施済みであり、本年10月の消費税10%への引き上げに合わせ、

議員

消費税で対応するということが、消費税は値上げになるとはつきり決まった訳ではないと思う。消費税導入のときも税率アップのときも「社会保障の充実のため」と言われてきたが、消費税が導入されて30年、私たちが収めた税金は総額372兆円。大企業や大金持ちへの減税に大きく税金を使い、さらに年々増加している軍費は5兆3000億円と史上最高額である。こんな使い方をしているから、一向に社会保障の充実は図れない。消費税に関係なく当市としての減免制度を作るべきと思う。ほかの自治体でも介護保険料が高くなっている折だから、減免制度を作っている自治体が増えている。ぜひ検討をお願いしたい。



国民健康保険の均等割の減免を求める

答 今回のところ困難であるが、今後の検討課題としていく

議員

社会保障である国民健康保険は、他の健保に比べて高額だ。国保は平等割と均等割から算出されるが、その均等割に問題があり、子どもの数の多い家庭ほど税が上がる人頭税になっており、収入のない子どもからも税をとる時代遅れの野蛮な税制である。均等割の減免が全国25の自治体で広がっており、取手市においては半額である。当市の対応は。

保健福祉部長

課税している均等割は、医療給付分と後期高齢者支援分を合わせて年額2万6500円。子どもの被保険者数1908人で乗じると約5000万円となる。仮に均等割を半額にすると、2500万円の減収となる。子育て支援の国庫補助等が確立しないと破綻しかねないため市単独で対応することは困難である。市の対応の在り方はわかるが

議員

市の対応の在り方はわかるが

保健福祉部長

被保険者の苦労は脇に置かれている。アンケートで「所得150万円未満で生活ができるのか(40代男性)」「子どもは働いていないのに税をかけるのはおかしい」という声がある。全国知事会は国庫補助1兆円を出すように言っているが、25の自治体の動きと一緒に国の方針を変えていく必要があるのではないか。

議員

当市としても全国知事会の要望等について積極的に動いていきたい。

保健福祉部長

国庫補助金が確立しなければ対応しないのか。国庫補助金の全体の状況を見なければならぬので、今後の検討課題としていく。

議員

収入よりも頭数でとる均等割は罰則のようなものだ。国庫補助を元にもどし、均等割をなくして、他の健保と同じ水準にしていくことを強く求める。



**用語解説** **首長**: 行政機関の長を意味する用語で、広い意味では集団・組織を統率する長を意味する。  
**地方創生**: 東京一極集中を是正し、地方の人口減少に歯止めをかけ、日本全体の活力を上げることを目的とした政策。

# 堀越 輝子 議員



**首長が外部団体の長を兼務している状況について尋ねる**



**答**

県内では、社会福祉協議会が約7割、シルバー人材センターが約3割である

**保健福祉部長**

把握していない。

**議員**

本市には社会福祉協議会、シルバー人材センター等の首長が長を兼務している外部団体があるが、他市町村の状況について尋ねる。

**保健福祉部長**

社会福祉協議会では44市町村のうち30カ所、シルバー人材センターでは38団体のうち12団体の首長が長を兼務している。

**議員**

シルバー人材センターでは首長以外ではどのような人材が長を務めているのか。

**保健福祉部長**

近隣においては、守谷市では民間企業を退職した方、つくば市ではセンターの職員が持ち上りの形の形、結城市ではセンターの会員の中からの互選となっている。

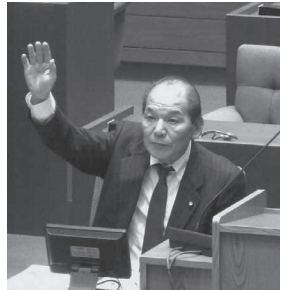
**議員**

首長が兼務していない団体についてはどのような経緯であったのか把握しているか。



■ 設 問 ■ JOSOSHIGIKAI DAYORI JOSOSHIGIKAI DAYORI JOSOSHIGIKAI DAYORI JOSOSHIGIKAI DAYORI ■ 設 問 ■

# 新田 宏安 議員



**道路整備について、現状と取り組みについて伺う**



**答**

予算の範囲で迅速に対応していきたい

**議員**

カーブミラーや標識など、安全安心のために必要不可欠な部分が見落とされているように思うが、当局の考えは。

**経済環境部長**

道路に関する要望、請願書が出されていると思うが、その現状と取り組みについて伺いたい。

**都市建設部長**

地域からの要望、請願書を合わせた約200件の案件が未実施となっている。年間の工事発注については、平均3億円から4億円の事業で、実績として1.5キロメートル、本数で約10本程度の事業を実施している。

**議員**

大分以前から要望等があると思うが、古いもので実現していないものはあるのか。

**道路建設課長**

道路利用状況や地域実情にもよるが、古いものは平成3年のものが未実施である。

**議員**

道路整備の実現は、市民の切実な願いであるため、スピード感を持って安全安心のために対応していただきたい。



安心のまちづくりのために、努力を徹底してもらえばありがたい。

**議員**

カーブミラー等の交通安全施設については、自治区から申請された案件、通学路合同点検等で要望のあったものに対応している。市内にはカーブミラーが約2900基あり、すべてを点検するのは非常に困難である。各自治区等と協力連携しながら対応しているところであるが、今後も交通安全施設設置及び修繕については、予算の範囲内で迅速に対応していきたい。

**用語解説** **通学路合同点検**: 平成27年4月に策定された「常総市通学路交通安全プログラム」により定期的に行われている通学路の安全を確保するための対策。



なぜ財政難の中、アグリサイエンスバレー構想を進めるのか



答 復興計画の柱の一つとして推進する

都市建設部長

行政として執行しているため、個人では責任は取れない。

議員

なぜ人件費は建設費に算入されないのか。  
公共事業においては、従事する市職員の人件費は含めていない。そのため、概算事業費を15億円から18億円と示した。

都市建設部長

議員

どうしてそういうことをやるのか。それでは話の筋が通らない。私の計算では30億かかる。人件費と金利がなければどの会社でも黒字である。その投資した額は回収しないのか。市の土地で固定資産税は入るのか。

都市建設部長

道の駅は公共施設であるため、固定資産税は発生しない。また、公共の福祉に資する施設であることから、回収も想定していない。

議員

この事業の責任は誰が取るのか。

都市建設部長

行政として執行しているため、個人では責任は取れない。

議員

1833名の反対署名があつて、坂東市、阿見町、牛久市、高萩市、土浦市、那珂市など近年に計画した市が中止している中、なぜ中止に踏み切らないのか。この道の駅で得をするのは管理会社である。30億をかけて人件費もメンテナンスも市持ち住民はそれを望むと思うか。

産業拠点整備課長

指定管理者制度により、当初の、自治体が指定管理料を支払う形から、逆に指定管理者が利用料を収める形に変わってきており、これを取り入れたい。

議員

当局から負の遺産は残さないとの発言があつたが、数年がたてばリニューアルやメンテナンスに多額の費用がかかるため、この施設は明らかに負の遺産である。税金は産婦人科の設立などに有効に使うべきである。

問 答 問 JOSOSHIGIKAYORI JOSOSHIGIKAYORI JOSOSHIGIKAYORI JOSOSHIGIKAYORI 問 答

平成31年 2月定例会議 審議案件と結果

色の付いていない部分は全会一致、色付き部分は賛否が分かれた案件です。

議案番号	議案名	審議結果
議案第41号	常総市災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例について	可決
議案第42号	常総市行政組織条例等の一部を改正する条例について	可決
議案第43号	常総市職員の自己啓発等休業に関する条例の一部を改正する条例について	可決
議案第44号	常総市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について	可決
議案第45号	常総市敬老祝金の給付に関する条例を廃止する条例について	可決
議案第46号	常総市児童クラブの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について	可決
議案第47号	指定管理者の指定事項の変更について	可決
議案第48号	常総市医療福祉費支給に関する条例の一部を改正する条例について	可決
議案第49号	常総市社会体育施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について	可決
議案第50号	常総市吉野公園条例の一部を改正する条例について	可決
議案第51号	平成30年度常総市一般会計補正予算（第4号）	可決
議案第52号	平成30年度常総市公共下水道事業特別会計補正予算（第2号）	可決
議案第53号	平成31年度常総市一般会計予算	可決
議案第54号	平成31年度常総市国民健康保険特別会計予算	可決
議案第55号	平成31年度常総市後期高齢者医療特別会計予算	可決
議案第56号	平成31年度常総市介護保険特別会計予算	可決
議案第57号	平成31年度常総市介護サービス事業特別会計予算	可決
議案第58号	平成31年度常総市公共下水道事業特別会計予算	可決
議案第59号	平成31年度常総市大生郷特定公共下水道事業特別会計予算	可決
議案第60号	平成31年度常総市農業集落排水事業特別会計予算	可決
議案第61号	平成31年度常総市水道事業会計予算	可決
議案第62号	常総市文化芸術振興基金条例の制定について	可決
議案第63号	後期高齢者の医療費自己負担2割への引き上げに反対する意見書提出について	可決
議案第64号	常総市議会会議規則の一部を改正する規則について	可決
議案第65号	常総市議会委員会条例の一部を改正する条例について	可決
議案第66号	天皇陛下御即位三十年に関する賀詞奉呈決議について	可決
議案第67号	常総市監査委員の選任につき同意を求めることについて	同意
請願第2号	常総市議会議員定数削減に関する請願書	不採択
請願第3号	後期高齢者の医療費自己負担2割への引き上げに反対する請願	採択
請願第4号	「最低賃金の大幅引き上げと中小企業支援策の拡充を求める意見書」採択の請願書	不採択

《会議の欠席等の状況》

2/27 議員全員協議会 水野昇（遅参） 3/11 予算特別委員会 中島亨一、遠藤正信（離席）  
3/14 常任委員会 中村安雄（離席）、堀越輝子（遅参）



# 平成31年 2月定例会議 議員の賛否

議案などに対して賛否の分かれたものを掲載しています。

※議員氏名は、会派ごとに議席番号順で掲載しています。

※当市議会は3名以上で構成される団体を会派として認めています。

○：賛成 ×：反対 棄：棄権

議案番号	正政会							未来						無会派						
	関優嗣	大澤清	寺田洋	堀越輝子	坂巻文夫	遠藤正信	中島亨一	坂野茂実	小林剛	新田宏安	倉持守	中村博美	岡野一男	中村安雄	茂田信三	喜見山明	石川栄子	水野昇	堀越道男	風野芳之
議案第45号	○	棄	○	○	○	○	棄	×	○	×	○	×	×	×	×	○	×	○	×	※
議案第46号	○	○	○	○	○	○	棄	○	○	×	○	×	×	×	×	○	×	○	×	※
議案第50号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×	※
議案第53号	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	×	○	×	○	×	○	×	※
議案第55号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	×	※
議案第63号	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
請願第2号	○	○	○	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	○	×	※
請願第4号	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	×	×	×	×	×	○	×	○	※

※議長は採決に加わらない

## 平成30年度行政視察受け入れ状況

No.	視察日	団体名	内容
1	4月3日(火)	埼玉県川越市議会 (防災・減災対策特別委員会)	関東・東北豪雨災害について
2	5月10日(木)	群馬県高崎市議会 (会派 新風会)	関東・東北豪雨災害について
3	5月16日(水)	鳥取県鳥取市議会 (建設水道委員会) 三重県伊勢市議会 (総務政策委員会)	関東・東北豪雨災害について
4	7月2日(月)	茨城県坂東市議会	通年議会について
5	7月5日(木)	宮崎県日向市議会 (総合防災対策特別委員会)	関東・東北豪雨災害、避難所運営及びボランティア受入について
6	7月11日(水)	多摩ニュータウン環境組合議会 (東京都八王子市・町田市・多摩市)	関東・東北豪雨災害による廃棄物処理について
7	7月12日(木)	福井県小浜市議会 (地域防災・原子力安全対策特別委員会)	関東・東北豪雨災害による避難所運営について
8	7月18日(水)	岩手県奥州市議会 (建設環境常任委員会)	関東・東北豪雨災害について
9	7月27日(金)	静岡県浜松市議会 (危機管理特別委員会)	関東・東北豪雨災害について
10	7月31日(火)	三重県鈴鹿市議会 (産業建設委員会)	圏央道常総インターチェンジ周辺地域整備事業について
11	8月8日(水)	香川県さぬき市議会 (総務常任委員会)	関東・東北豪雨災害時の罹災証明の発行について
12	10月2日(火)	東京都武蔵村山市議会 (建設環境委員会)	関東・東北豪雨災害について
13	10月16日(火)	広島県議会 (民主県政会Bチーム) 新潟県上越市議会 (災害対策特別委員会)	関東・東北豪雨災害について
14	10月18日(木)	大分県中津市議会 (産業消防委員会)	圏央道常総インターチェンジ周辺地域整備事業について
15	10月22日(月)	福岡県遠賀・中間地域広域行政事務組合議会 (第2常任委員会)	関東・東北豪雨災害による災害廃棄物処理について
16	10月24日(水)	和歌山県上富田町議会 (産業民生常任委員会)	関東・東北豪雨災害について
17	10月30日(火)	群馬県邑楽郡大泉町議会 (総務文教常任委員会)	関東・東北豪雨災害について
18	11月1日(木)	長崎県諫早市議会 (総務委員会) 富山県富山市議会 (会派 公明党)	関東・東北豪雨災害による対応、避難所の運営及び災害時の議会の対応について
19	11月2日(金)	山形県寒河江市議会 (議会運営委員会)	議会における危機管理対応について
20	11月5日(月)	山形県尾花沢市議会 (議会運営委員会)	議会運営 (一般質問の一問一答方式) について
21	11月7日(水)	福岡県小郡市議会 (総務文教常任委員会) 埼玉県児玉郡上里町議会 (総務経済常任委員会)	関東・東北豪雨災害について
22	H31年1月22日(火)	岡山県瀬戸内市議会 (会派 市民の会・公明党 瀬戸内市議団)	関東・東北豪雨災害について
23	1月28日(月)	千葉県南市議会 議長会	関東・東北豪雨災害について
24	2月1日(金)	岡山県総社市議会 (総務生活委員会)	関東・東北豪雨災害について
25	2月4日(月)	つくばみらい市議会 (総務常任委員会)	関東・東北豪雨災害について
26	3月26日(火)	岡山県倉敷市議会 (会派 くらしき創生クラブ)	関東・東北豪雨災害について



# 令和元年 5月随時会議 審議案件と結果

議案番号	議案名	審議結果
選挙第1号	常総市議会議長の選挙について	当選 倉持守
選挙第2号	常総市議会副議長の選挙について	当選 小林剛
選任第1号	常総市議会常任委員会委員の選任について	選任
選任第2号	常総市議会議会運営委員会委員の選任について	選任
選任第3号	常総市議会広報委員会委員の選任について	選任
選挙第3号	常総衛生組合議会議員の選挙について	当選
選挙第4号	常総地方広域市町村圏事務組合議会議員の選挙について	当選
選挙第5号	茨城県西南地方広域市町村圏事務組合議会議員の選挙について	当選
選挙第6号	下妻地方広域事務組合議会の議員の選挙について	当選
議案第1号	常総市監査委員の選任につき同意を求めることについて	同意 風野芳之

## 正副議長略歴

**議長 倉持守** 68歳

平成23年5月、常総市議選で初当選以来3期目。その間、総務委員長・副議長を歴任。今回第9代目の常総市議会議長に就任。

**副議長 小林剛** 63歳

平成23年5月、常総市議選で初当選以来3期目。その間、建設経済委員長を歴任。今回第8代目の常総市議会副議長に就任。

## 一部事務組合議会議員

- ・常総衛生組合議会議員 喜見山 明
- ・常総地方広域市町村圏事務組合議会議員 堀越 道男
- ・茨城西南地方広域市町村圏事務組合議会議員 坂巻 文夫
- ・下妻地方広域事務組合議会議員 中村 博美
- ・中村 安雄
- ・茨城西南地方広域市町村圏事務組合議会議員 茂田 信二
- ・水野 昇
- ・下妻地方広域事務組合議会議員 水野 昇
- ・風野 芳之
- ・茂田 信二
- ・水野 昇

## 常任委員会

任期満了に伴い、各委員の選任が行われました。

◎委員長 ○副委員長

委員会名	委員長	副委員長
総務委員会	◎遠藤 章江 小林 剛 飯島 忠 広瀬 光一	○坂野 茂実 石塚 剛 水野 昇
文教厚生委員会	◎大澤 清 堀越 道男 草間 典夫 柳井 真吾	○関 優嗣 茂田 信三 佐藤 剛史
建設経済委員会	◎中村 博美 喜見山 明 風野 芳之 岡野 一男	○吉原 晴照 中村 安雄 坂巻 文夫
広報委員会	◎岡野 一男 広瀬 光一 石塚 剛 大澤 清	○佐藤 剛史 遠藤 章江 吉原 晴照 草間 典夫

## 8月定例会議日程(予定)

8月28日(水)	第9回会議 (本会議)
9月3日(火)	第10回会議 (一般質問)
9月4日(水)	第11回会議 (一般質問)
9月5日(木)	第12回会議 (一般質問)
9月6日(金)	第13回会議 (一般質問)
9月9日(月)	予算・決算特別委員会
9月10日(火)	決算特別委員会
9月11日(水)	決算特別委員会
9月12日(木)	常任委員会 (分科会)
9月13日(金)	常任委員会 (分科会)
9月17日(火)	常任委員会 (分科会)
9月19日(木)	予算・決算特別委員会 第14回会議 (本会議)

※正式な日程は8月21日に開催される議会運営委員会  
で決定されます。

## 編集後記

改選後の随時会議において、新たに広報委員が左記のとおり選任されました。今後とも読みやすい紙面をめざして、更なる努力を重ねてまいります。皆様のご支援・ご協力をお願い申し上げます。



## 広報委員会

- ・委員長 岡野 一男
- ・副委員長 佐藤 剛史
- ・委員 広瀬 光一
- ・遠藤 章江
- ・石塚 剛
- ・吉原 晴照
- ・大澤 清
- ・草間 典夫